

住宅改修事例集

要介護状態になっても、在宅生活を継続するために、お住いの環境を整えることは重要です。介護保険制度では、手すりの設置や段差の解消等を行うことができます。この「住宅改修」でこういったことができるのかを実際に住宅改修を行った皆様の協力のもと、次のとおり事例集を作成しました。今後のお住いの環境を整える上での参考にいただければと思います。写真の提供をしていただいた利用者の皆様、ご協力ありがとうございました。

～ Before ～



手すりの設置

玄関の上がりかまちの段差があり、上り下りが難しく、外出時に立ち上がり動作が不安定な状態でした。



玄関に、L型手すりを設置することで、座っての靴の脱ぎ履きが可能になり、外出しやすくなりました。住宅改修の見積もりは、2社以上の業者から徴収することをお勧めします！

～ After ～



～ Before ～



手すりの設置

トイレ内に身体を支えるものがなく、トイレ内の立ち座り動作が困難な状態でした。



トイレ内に立ち座り動作を支えるL型手すりを設置することで、転倒する危険がなくなり、家族（介護者）の負担軽減にもなりました。手すりを取り付けるための壁の下地補強も付帯工事として認められるそうですよ。

～ After ～



住宅改修事例集

～ Before ～



手すりの設置

玄関と道路の間の階段の昇降が困難であり、転倒する危険性が高く、外出することが困難な状態でした。



階段横に手すりを設置することで安心して外出できるように移動が安全に行うことができました。
府中町（高齢介護課）には、住環境の有資格者がいるので、個別の相談もできるみたいですよ。

～ After ～



～ Before ～



段差の解消

玄関出入り口から敷地外まで、2段の階段があり、転倒の不安が大きく、外出する意欲が低下している状態でした。



階段にスロープを設置することで、安全かつ安心して外出できるようになりました。
外出する意欲も出て、家族への負担が軽くなりました。



～ After ～



住宅改修事例集

～ Before ～



段差の解消

台所と寝室の間に敷居（段差）があり、つまづき転倒の危険性が高かった状態でした。



台所と寝室の間の敷居を撤去することにより、安全に移動することができるようになりました。



～ After ～



～ Before ～



床材の変更

居室が畳で、滑りやすく、転倒する危険性がありました。また、畳の縁につまづいて転倒する危険な状態でした。



居室を畳式から滑りにくい材質のフローリングに変更することで、つまづきや転倒を防ぐことができ、安心・安全に居室内の移動ができるようになりました。老朽化による工事は支給対象とならないそうですよ。



～ After ～



住宅改修事例集

～ Before ～



便器の取り替え

立ち座りで負担のかかる和式トイレでは、立ち座りが難しく排泄ができない状態でした。



和式トイレを洋式トイレに変更し、また、床のかき上げを行い、床面がフラットになりました。この住宅改修で、排泄とトイレでの立ち座りを安全に行うことができるようになりました。

～ After ～



～ Before ～



戸の取り替え

ドアを開いたときに身体のバランスを崩して転倒する危険性がありました。また、出入りの際、浴室が狭くなり、動作がしづらい状態でした。



お風呂場の扉を開き戸から引き戸に交換することで、スムーズに行き来することができるようになりました。緊急の際の戸の開閉にも効果的ですよ。

～ After ～

